

産業厚生常任委員会資料

令和元年8月2日

産業振興部

商工観光課

目 次

商工観光課

- ・旧滝野庁舎の観光施設利用について・・・ 1～3

旧滝野庁舎の観光施設利用について

1 加東市の観光の現状と課題

ひょうご東条 I C を東の玄関口として、道の駅とうじょう、おもちゃ王国、清水寺があります。その他市内には播磨中央公園、ぽかぽ、国宝の朝光寺、鴨川の郷、また 19 のゴルフコースがあります。J R、高速バス、国道と交通の利便性に長け、京阪神から 1 時間～2 時間でアクセスできる立地から、加東市に人を呼び込める可能性はまだ多くあります。しかし、特定の施設の訪問は見られるものの、日帰りが多く、また市内の周遊にまで至らないという課題があります。

2 ねらい（対策）

旧滝野庁舎の 1 階部分を活用し、参加型のトリックアート展（P. 3 参照）を開催し、当施設を観光資源の軸として活用します。誘客を図るとともに、作品の一部に加東市にゆかりのあるものを提供することなどにより、ここから現地を訪ね市内を周遊することを狙います。また、多くの来場者から SNS の発信による加東市 P R を促します。

3 旧滝野庁舎の現状

	利用形態	備考
1 階	埋蔵文化財及び防災備蓄品の保管	生涯学習課・防災課
2 階	絵画等の美術品の保管	生涯学習課
3 階	北はりま消防本部（消防指令センター）	令和 7（2025）年 3 月まで

※ 旧滝野庁舎は、J R 滝野駅に近く、周辺に駐車場もあり、近隣に播中公園や、ぽかぽといった観光資源もある非常に有利な立地にあります。

4 利活用提案（観光施設として利用）

- (1) 内 容 旧滝野庁舎 1 階部分を活用し、トリックアート展を常設する。
- (2) ねらい J R 滝野駅が近くにあることから、京阪神間からの訪問を狙い、市の交流人口増を目指す。（入館者目標数：3 万人／年間）
当施設を軸に、市内観光の周遊性を高める。
- (3) 主な対象 家族やグループ客
- (4) 費 用 約 8, 100 万円（庁舎改修及びアート作品の展示にかかる費用）

【内訳】設計監理費	700 万円
庁舎基本改修費	5, 700 万円
アート展示のための改修及び展示費用	1, 700 万円

5 スケジュール等について

令和2（2020）年度末のオープンを目指します。

令和元（2019）年度			令和2（2020）年度			
10月	⇒	3月	4月	⇒	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 ・補助採択協議（県） ・管理者選定 			<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事 ・作品製作（展示） ・利用のための条例改正等 			・開館
			⇒			
※備考 令和2年度末 加東市合併15周年						

6 財源について（見込み）

起債等を財政部局と調整のうえ活用します。また、令和2（2020）年度の国、県（県民局含む。）の地方創生関連補助金等（事業費の最大1／2の補助）の採択を目指します。

<参考>

将来構想として、アート（芸術）で加東市の活性化を図るため、市内の公共施設、観光地等にアート作品を置き、フットパスのコースに組み込み、市内の周遊性を高め、参加型、体験型、周遊型の観光資源として活用します。

併せて、隣接するギャラリー「伝」での企画展や、播中公園等の周辺施設との連携も図る。

さらに、駅やインターバス停での作品展示を行い、加東市に到着した時からワクワク感を演出します。また、空家、空き施設を活用し、地域で学生や芸術家が住む「ラボ」を開設する。ラボからの情報発信や、地域の子ども達とのコラボ作品の展示等で、地域コミュニティの活性化にもつなげます。各事業者の協力を得て、店舗前に作品を展示することで大きく広がり、市内のお店を訪れるきっかけづくりとなります。

○トリックアートについて

目の錯覚を利用した参加型の作品展です。作品に触れて写真を撮ることで、その楽しさを感じることができる新しいアートともいえます。

携帯端末等で撮影し、SNS等からの発信効果も期待されます。

平面の絵であるが、
撮影する角度によって、右図の
ように飛び出たような写真が
できあがります。



二人は近くで撮影していますが、
遠近感のあるような、また
一方が非常に小さく写る奇妙
な写真になります。

